

平成28年5月17日

## 学校教育計画(平成28年度～平成31年度)

学校名	磯子工業高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・機械科、 電気科、建設科、化学科
-----	----------	------------------	-------------------------

### 1 学校のミッション

全日制専門学科の高校として、産業の動向等に適切に対応し、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、工業に関する専門教科・科目を中心に、専門性の向上を図る教育に重点を置いて、実際の・体験的学習を重視して産業界等との連携をより一層深めるとともに、共通教科・科目の適切な設置に基づいて編成を行う。

これまで、将来の産業界において職業人として活躍できる人材の育成をめざし、キャリア教育の充実に取り組んできた。今後はさらに、生徒の主体的に学ぶ意欲を高めるための不断の授業改善を行い、基礎的・基本的な知識・技能と専門技術・技能の確実な定着と向上を図るとともに、課題解決能力を養う教育を一層推進し、将来、地域産業を担う人材の育成に向けた教育活動の充実に取り組む。

### 2 学校教育目標

- 我が国の「工業」の技術・技能を支える工業人及び職業人の育成
- 確かな学力の向上と一人ひとりの進路実現の支援
- 「健康」「明朗」「勤勉」を礎とした「豊かな社会性」の育成
- 地域とともに育ち、地域に信頼され、貢献する学校づくり

### 3 計画作成時点での課題

- 7割近くの生徒が卒業後就職を希望し、内定率100%を継続しているが、この数年の入学者選抜の倍率を考えると、今後は進学希望者への支援にも力を入れる必要がある。教育課程の見直しと、授業改善、幅広い進路に対応したキャリア支援が課題となる。
- 卒業後に就職する生徒にも進学する生徒にも、自ら学び続けるための基本的な学力と課題解決能力、コミュニケーション能力の育成が重要となる。主体的に学ぶ意欲を引き出す授業と評価の工夫、実践的体験を通じて学ぶ機会の充実が課題となる。
- 本校生徒のルール・マナー順守の意識の高さ、他者への思いやりある言動は「磯工ブランド」として産業界からも評価されている。今後もそれを継続していくため、生徒指導・支援体制の充実が課題である。
- 地域や産業界との連携・協働のあり方を、さらに検討することが課題である。

#### 4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒一人ひとりの目標実現に向けたカリキュラム・マネジメントを進める。</p> <p>②工業高校生に求められる学力・能力の向上を図る。 基礎学力と専門技術・技能 主体的に学ぶ意欲 課題解決能力 実際の体験的学習の推進</p>	<p>①教育課程の再編成 ①より適切な授業形態の設定</p> <p>②組織的な授業改善と評価方法の工夫 ②大学・企業との連携による専門的な学習機会の提供 ②コンテスト等への参加支援</p>
2	生徒指導・支援	<p>①社会や産業界に期待される規範意識の向上を図る。 「機工ブランド」の確立</p> <p>②豊かな人間性や社会性を培う、生徒の主体的な活動を支援する。</p>	<p>①身だしなみ、あいさつ、相手を思いやる言動の大切さの指導</p> <p>②学校行事、生徒会活動、部活動等の生徒の主体的な活動の充実に向けた支援</p>
3	進路指導・支援	<p>①生徒一人ひとりの可能性を引き出す進路指導を行い、進路実現100%を目指す。 (進路未決定卒業生ゼロにする)</p> <p>②社会や産業界に期待される資質・能力を育成する。 コミュニケーション能力 課題解決能力 実践的な資格・検定</p>	<p>①ガイダンス・カウンセリング機能の充実</p> <p>②キャリア教育実践プログラムの充実 ②資格・検定取得の支援</p>
4	地域等との協働	<p>①産業界との連携の充実を図る。</p> <p>②地域との連携・協働を推進する。</p>	<p>①デュアルシステム、インターンシップ、外部講師による学習活動の充実</p> <p>②地域貢献活動の推進、近隣小・中学校との連携</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①事故を防ぐ業務手順の整理</p> <p>②防災に係る校内体制を整備する。</p>	<p>①内規・マニュアルの見直しと手順の順守</p> <p>②防災訓練等による意識向上 ②校内の施設・設備の安全対策の強化</p>